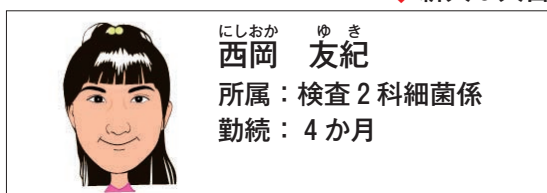


復活版 今月の笑顔

平成22年12月号に最終回を迎えたこの職員紹介コーナーが一時復活しました！先月号に引き続き、平成26年度に当検査センターに入職した新入職員4名をご紹介します。ここに登場した職員から、当検査センターの横顔が少しでも垣間見えたなら何よりです。

♥ 新人3人目



臨床検査技師を目指したキッカケ

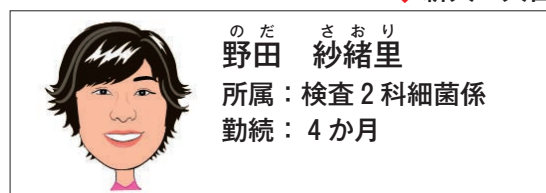
私の母が看護師だったこともあり、幼いころから医療には興味を持っていました。また、母からも、手先が器用で作ることが好きだった私をみて、検査技師が合っていると言ってくれていました。

高校生のとき心エコーを受ける機会があり、そのとき検査技師って「カッコいいー！」と思えました。それからネットや各種資料で医療職（薬剤師 etc.）について調べ、高3の後半になってようやく検査技師になることを決断しました。

そして臨床検査技師養成学校に進学しました。中でも私は微生物学的検査が一番好きでした。今細菌係に配属されているのも何か縁があったのでしょうか。

実際検査技師になった今でも、まだ（検査技師になったという）実感がわかないのが正直なところですが、先輩方のように細菌検査のすべてができるようになりたいと思っています。同時に、私のような新人が入ってきたときに、手本となり、ちゃんと指導できる先輩にもなりたいです。

♥ 新人4人目



充実した毎日を過ごしています

今年4月に当検査センターに入職し、あっという間に4か月余りが過ぎようとしています。まだまだ未熟な私ですが、自分でできる事が少しずつ増えてきたように思います。

現在、私は細菌検査に携わっていますが、学生のころとは比べ物にならないくらい多くの時間を細菌と向き合って過ごしています。教科書では学べない様々なことを先輩方から教わり日々技術の向上に努めています。

最近では、ルーチン業務以外に母子垂直感染の原因菌として重要視されるB群溶血連鎖球菌（GBS）を特異的に検出する培地の比較検討を細菌係の新人3名が協力して実施いたしました。新生児GBS症を予防する上でも、私自身、今回検討したGBSの特殊培地にとっても期待しています。今回の検討により多くのことを学ぶことができました。

これからも、臨床検査技師として成長するために、知識や技術を積極的に吸収してゆく努力を続けていきたいと思っています。

*次号からは再び「海外感染症情報」をお届けいたします。